

新町 光示

(社)日本旅行業協会会長

「エコツーリズム推進会議」を終えて

小池百合子大臣のリーダーシップで行われた今回の「エコツーリズム推進会議」は、長年私達ツーリズム産業が待ち望んでいたものでありました。国家戦略としての「観光立国宣言」に呼応する形でタイムリーに立ち上がり、叡智を集結したメンバーによりなされた活発な議論と重要なポイントを的確に捉えた推進方策の策定は短時日でありましたが、よく纏まっている内容であり大きな成果があったと、旅行業といたしましても大変喜んでおります。環境省自然環境局をはじめ関係各省庁も一堂に会しての議論についても大変意義深いものであったと存じます。

特に最終回の「エコツーリズム憲章」の議論は、まさに本質論についての各委員の思いのほとばしりであり、良い纏めが出来たと思えました。「憲章」は大部分が詩で構成される画期的な試みであり、大臣をはじめ環境省の幹部の方々のセンスの良さを改めて評価させていただきたいと思えます。

最も大切なことは、世界の水準から少し遅れがちな日本のツーリズムにおける「環境・文化の保護・保全」や「サステナブル・ツーリズム」の理念や行動規範についての国民や業界の理解や対応を、如何に早く世界水準に引き上げ、一日も早く世界をリードするレベルに向上させるかということではないかと認識いたしておりますが、今回の会議がその第一歩となるのではないかと業界団体といたしましても大いに期待いたしております。

私共旅行業界は、エコツーリズムの概念として、「自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し学ぶとともに、それらの維持・保全・向上に責任を持つ旅の形であり、当該地域の振興を含むビジネスが形成されるツーリズムの場」であると理解をいたしております。また、とかく話題に上る「マス・ツーリズム」につきましても、旅行業界といたしましても「エコツーリズム」の理念・概念を極力、取り入れられないかの検討を始めております。そういう意味で「ツーリズム」が環境保全に寄与できないか、貢献できないかというテーマにチャレンジいたしておりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りたいと思えます。

今後、旅行業界としてこの5つの推進方策を、速やかに業界内へ徹底してゆく所存です。

以上